

自治会の現状についてこんなデータが…

人口は増える一方、
自治会加入率は低下しています

本市の自治会加入率

平成28年 85.01%



令和8年 **73.88%**

(毎年5月1日現在・総務課調べ)

自治会に加入しない理由
こんな声があります(主なもの)

「加入しなくても困らない」 56.3%

「メリットを感じない」 41.0%

「仕事や子育てなどで忙しい」 34.0%

「自治会の存在を知らない」 15.3%

(令和8年度市民意識調査)

自治会は単なる任意の団体ではなく、地域で安心して暮らすための基盤となる存在です。しかし、市の自治会加入率は年々低下傾向にあります。その結果、地域のつながりが希薄になり、地域を支える担い手が不足していることが課題となっています。

でも、自治会だからできることがあります



すずかけ台自治会長
まつぎ かずひろ
松崎 和寛さん

地震のときに公民館を
避難所として開設しました。
非常時でも頼れるのが自治会です



防災・減災

イベントを
通した
近所の人と交流

きれいで
快適なまち

地域の見守り
安全・安心



見守り活動やごみステーションの管理…
自治会が私たちの
暮らしに欠かせないことを
役員を経験して知りました



黒石原区元事務長
くろだ きょうか
黒田 京香さん

自治会の具体的な活動は次ページへ



永江団地自治会 N-kidsくらぶ (7月4日)

自治会特集

vol. 1

“もしも”のときの安心をつくる
地域みんなの“いつも”のつながり



●問い合わせ先 総務課 総務・男女共同参画班 ☎096-248-1112

自治会は普段あまり意識しないところで、本市に住む皆さんの暮らしを支えるさまざまな活動を行なっています。

本年7月28日の『令和8年熊本地震』をはじめ大規模な災害が発生すると、公的機関による支援が始まるまでに時間がかかることがあります。自治会という日頃から顔の見える関係があることは、“もしも”のときに、お互いに支え合う大きな力になります。

そのきっかけは、“いつも”の活動です。「自治会に入らなくても困らない」。そう思っている人もいるかもしれませんが、しかし、自治会では、こどもから大人まで地域の人たちが一緒に楽しみ、学び、交流する機会が多くあります。安全で安心な日常生活の実現にも大きな役割を果たしています。

広報こうしでは本市にお住まいの皆さんに自治会のことを少し身近に感じてもらうと、自治会が実際に何をしているのか、地域のつながりの大切さとは何か、2回にわたって紹介します。

自治会って
なぜあるのか
ちよつと
考えてみませんか



※自治会のことを区という地域もあります